

指導者の方にお話を聞きました



西脇アスリート・クラブ
代表 小宿 義幸 さん

やりがいは生徒が自信を持つこと

元教員で当時のつながりから、陸上競技の指導者をしています。「よく見て、よく声かけをする」を大切に一人一人と関わっており、やりがいは生徒たちが成長を通じて、自信を持てるようになることです。指導する生徒たちに「やってよかった」と感じてもらえたらうれしいです。



地域クラブ活動方針

項目	基準
活動時間	休日どちらか1日に原則3時間
活動場所	市内の学校施設、社会体育施設
対象	市内4中学校に通う中学生
指導者	2人以上
保険	参加者、指導者とも保険に加入



～部活動の地域展開が8月からスタート～
地域のチカラで生徒に多様な活動を

剣結会
代表 石田れい子さん（剣道教士7段）

愛称を募集します

地域クラブ活動に親しみをもちただけるよう愛称を募集します。詳しくは市ホームページをご覧ください。

▶募集期間 9月1日（月）～30日（火）

▶愛称の内容・基準

地域クラブ活動の狙いなどがイメージできる▷子どもの楽しみ、成長、経験、体験、西脇市への愛着要素がある▷覚えやすく親しみやすい▷未発表で自作のもの▷他の名称や商標などと混同されない

▶応募点数 1人3点以内

▶応募方法

QRコードから応募いただくか、応募用紙に必要事項を記入し下記へ提出してください。市ホームページからダウンロードできます。

▶賞 最優秀賞は商品券1万円

▶応募・問合せ

生涯学習課（市役所内線4053）



本市が目指す地域クラブ活動

- ①生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して活動できる環境づくり
- ②学校の働き方改革の推進
- ③学校・地域が連携し、生徒のニーズに応じた多様で豊かな活動の推進
- ④将来的には、持続可能で多様なスポーツ・文化芸術活動の環境を整備
- ⑤地域とともに「生徒の居場所の一つ」となる環境づくり



全国で進む部活動改革
少子化の進展に伴い、これまで学校が担ってきた部活動の運営が難しくなっています。この課題に対応するため、国は令和4年12月に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定。生徒たちが将来にわたってスポーツや文化芸術に親しむ機会を確保し、持続可能な活動環境の整備を目指して、まず休日の部活動から段階的に地域クラブ活動への移行を目指すこととしました。

これを受けて、本市においても、令和6年度に「休日の学校部活動の地域展開に関する基本方針」を策定しました。誰もがスポーツや文化芸術活動に親しめる社会の実現を見据えて、今年度から2年間の実証事業を開始することとしました。

段階的に地域クラブへ展開
本市では、基本方針に基づき、今年度から2年間、地域クラブ活動の実証事業を実施します。令和9年度に中学3年生が最後の大会や発表会などを終えると、休日は部活動がなくなり、代わりに地域での活動が主体となります。

これにより全ての中学校における休日の部活動はなくなり、地域

